

教授デ園長役デアッタ理學博士矢田部良吉君ノ下ニ園ノ事務ヲ監掌シテ居ラレタ、其當時私ハ同園ノ事務室デ數度御目ニカ、ツタ事ガアツタガ其元氣ノヨイ容貌ト其特色ヲ帶ビタ一種ノ高イ笑聲トハ今尙ホ我が眼底ト耳底トニ其深イ印象ヲ留メテ居ル、其後同君ハ明治二十五年矢田部教授ガ非職トナツテ大學ヲ退カレシ際冠ヲ掛ケテ長州ノ郷里ニ歸リ山口縣立農學校ニ教鞭ヲ執リ且教頭ヲ勤テ居ラレタガ其後同校ヲ辭シ明治三十五年十月八日ニ享年五十九歳デ易簣シ今ハ早ヤ疾クニ故人トナラレタ、此様ニ同君ハ我が東京ノ大學然カモ植物園ニ長ク勤メテ居ラレタガ今日其令息ナル猛之進君ガ出世シ同ジ大學ニ植物學ノ教授ニナツテ居ラル、ノハ誠ニ奇シキ因縁デアルト謂ハネバナラナイ、是レハ疑モナク父君ノ靈ガ冥々裡ニ我がいと子ヲ思ヒ出ノ多イ此大學ヘ導イタモノデ定メシ父君モ九泉ノ下デ喜ンデ居ラレルコトデアラウ

○杜仲軒赭鞭夜話 (十)

久内清孝

●やぶかんざうノ化物

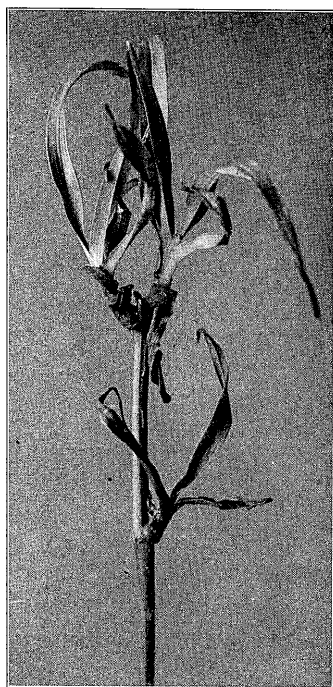
昭和三年十二月某日相州葉山長者ケ崎ノ叢中デ寫真ノ様ナはまぐわんざう(牧野富

太郎氏ノ新稱デ同氏ハ *Hemerocallis littorea Makino*, (sp. nov.) ノ名デ發表スル豫定デアルト云フ) ト思ハルルモノヲ採集シタノデアツタガ此ノ者ハ葉ガ花莖ニ現レタモノデ先ヅ先端ニ一個花ガ咲イタ後他ノ花トナルベキ蕾ガ芽ヲ出シタモノト考ヘラレル、大シテ珍ラシイトハ思ハナイガ一奇現象トシテ報ジテオク

●がぶた

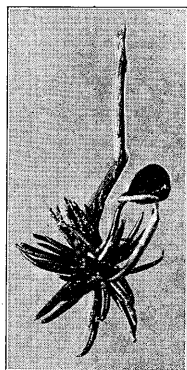
第二圖ハ一昨年秋友人徳永家次君ガ常陸ノ北浦デ採集シタ葉柄カラ發芽シテ居ルがぶたデア

ル、此者葉柄ノ二寸位下ノ處カラ發芽シテ他ノ部分ハ腐レテ失セ新生シタ芽ガ生育長成スル好個ノ例ト見ルコトガ出來ルト思フ、第三圖ハ其芽ノ處丈ヲヤ、廓大シタ寫真デアル、がぶたハ此現象ガアルノガ普通ノ特徴デ其處カラ根ト芽ト花トヲ出スノデ芽ガ一番最後ニ出ヅル、花ハドウ云フ譯カ普通ニハ實ガ熟サナイ



第一圖

元來葉柄カラ發芽スルラシキモノデ普通ニ目ニツキ易イモノハ
たうごまノ葉柄ニ秋ノ頃現レル點々タル芽狀ノモノデアアルガ、
コレガ果シテ發育スルモノデアアルカ、マタ發育シタ場合ニ何ニナルカハ勿論知ル由モナイガ若シ發育シテ完全

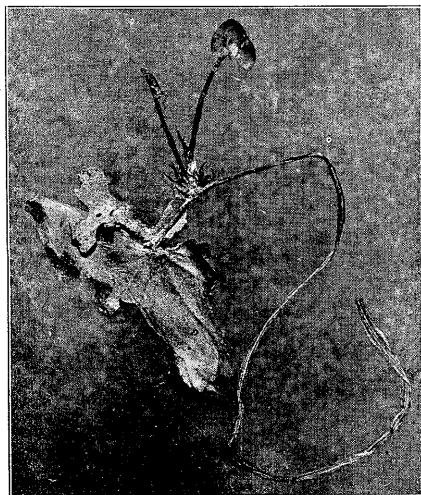


第三圖

ナ芽トナツテ行クナラコレモ葉柄カラ出芽スル例トシテ差支ナイガ證據
ノ舉ラナイ以上コレハ想像シテオクヨリ致方ガナイ、然シガゞぶたノ場
合ニ於テハ立派ニ生成シ行キ遂ニ來年旺盛ヲ極ムルニ至ルノデアアルカラ
葉柄ヨリ發育スル例トシテ數ヘテモヨイ様ニ思ハレル、要スルニ何レモ
個體性ノヨクヨク乏シイ奴原デアルトフン慨シテオク

●上免草

某日介殼蟲ノ世界的權威桑名農學博士カラ「上免草」ト云
フ植物ヲ知ツテ居ルカト問ハレタカラ内々調べテ見タケレドモトモ判リサウデモナイカラ早速兜ヲ脱イダ處



第二圖

其後同博士カラ「上免草」ノ名ハ天保八年頃ノ版五十嵐某著『耕作仕様考』ト云フ本ニ出テ居テ之ヲ農林省所藏ノ文獻デ調ベテ見タラ『大日本產業事蹟』中ノ「農牧林業及物産」ノ内ノ越中加賀紫雲英栽培ノ起原中ニ記サレアリテ「上免草」ハ紫雲英ノ事デアルトノ教ヲ受ケタ、其處デ早速書ヲ認メテ報知新聞富山支局長前田普羅君ニ「上免草」ノ方言ノ存否ヲ質シタル處氏ハ富山縣農會技師ニ就キ取調ベタルニ「上免草」ハ「ジョーメグサ」ト訓ジ富山縣方面デハげんげノ名ヲ用ヒナイト報ジテ來タカラ記シテ兩氏ノ好意ヲ讀者ニ頒ツコトニスル

●氷華 ニ就キ本誌第四卷第一號ニ駄辯ヲ弄シテオイト處昭和三年十二月二十二日朝余ノ庭（東京市外ノ澁谷）ニ於テたにじやかうさうノ莖ニ同様ナ現象ヲ見タ之ニヨツテ見ルト從來知ラレタルいぬやまはつか、しもばしら、みかへりさうナドト限ル必要ガナク恐ラク似タ様ナモノニハ似タ様ナ現象ガ現ハレルモノト見エル、尙出現ノ狀況ニ就キ觀察シタガ他ノ既知ノモノニ於ケルト何等異ラナカッタ、依テ翌日相州鎌倉地方ノたにじやかうさうノ產地ニ就テ見タガ當日ノ氣候ノ關係上カドウカハ知ラナイガ同方面ニハ見當ラナカッタ

●かたばみ科植物ノ數 J. C. Wurts ノ A Dictionary of the Flowering Plants & Ferns. ノ第五版四百七十八頁ニハかたばみ科ノ條下ニ七屬二百五十種トシテアリナガラ其次項 Oxalis ノ處ニハかたばみ屬丈デ 300 cosmop. chiefly S. Afr., Am. ト書イテアル、ドウモ「ロジック」ガ合ハナイ然ルニ第三版ニハ 220 sp. cosmop. chiefly S. Afr., Am. トアル

世間デハ新版トカ改版トカ言フト此ノ上モナク信用シテ嬉シガルガ此場合何レノ數ガ正シイニシテモ改版ノ方ガ「ロジック」ガ合ハナクナツテ居ルコト勿論ダ、オカシナコトガアルモノダ之レモ澆季末法ノ世ノタメカモ知レナイ

●（正誤）五卷四號秋葉山記事中にぜんまいはやしやぜんまいノ誤